

<b>さくらルーム道徳</b>	主題名「ありがとうの気持ちを伝えよう」 2-(4)感謝 資料名「お世話になっている人に感謝して」
さくらルーム 教諭 三浦 恵	<b>&lt;1次公開&gt; 5校時</b> <b>13:30~14:15</b>

## 1. 主題設定について

### 内容項目の特性・特徴

本主題は、道徳の内容2-(4)「日頃世話になっている人に感謝する」に当たる。自己中心的な面がまだのこっている低学年の児童にとっては、他者とのかかわりのなかで親切にしてもらった経験をもとに、感謝の心を身に付けていくことが大切である。

### 主題の分析

感謝する気持ちとは、他者との豊かな関わり合いをもつための基本的姿勢である。

対象児童2名は、相手に何かしてもらったときに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることができるようになってきている。本主題を通して学校や家庭で先生や友達、家族が自分の生活のために働いてくれているということに気がつけるようにしていきたい。また、日常生活の中でかかわる様々な人に対して、感謝の気持ちをもつと同時に、相手に感謝の心が伝わるような話し方や態度を身に付けられるようにしたい。

## 2. 授業改善に向けて

### 改善1【確かな学びの積み上げがある教材化】

#### ・資料提示の工夫

実際にお世話になった場面を振り返りながら「ありがとうカード」を書くという活動を行う。写真やイラストを用いて、体験したことを振り返り、自分たちのために誰が何をしてくれているのかということを考えられるようにしていきたい。さらにカードを渡す場面のロールプレイングを行うことで、相手意識をもって感謝を言葉で伝えたり、態度で示したりできるようにしたい。

#### ・他の教育活動との関連付け

毎日の清掃時間に6年生にそうじの仕方を教えてもらいながら一緒に清掃をしている。また、特別活動の「異学年交流」では、5年生や6年生とのペア活動を通して、身の回りのことを教えてもらったり、親切にしてもらったりする経験を積んできている。また、生活「おてつだいをしよう」を通して学校や家庭で色々な仕事があること、それらの仕事を先生や家族がしてくれていることを学んでいる。

### 改善2【子どもの学びが高まる3つの場】

#### ・つかむ場

資料の挿絵を見ながら、学校や家庭には誰がいるか、また、それぞれの人がどんなことをしているかを考えることで、自分たちの身の回りの人がどのようなことをしてくれているのかを考える活動につなげる。

#### ・わかる場

日常生活の中で、「ありがとう」という言葉を使う場面を振り返りながら、誰かに親切にしてもらったことや、優しくしてもらったことなどを振り返る。「誰に何をしてもらったか。」を具体的に思い起こしながら、相手に感謝を伝えるために「ありがとうカード」を書いていく。

#### ・たしかにする場

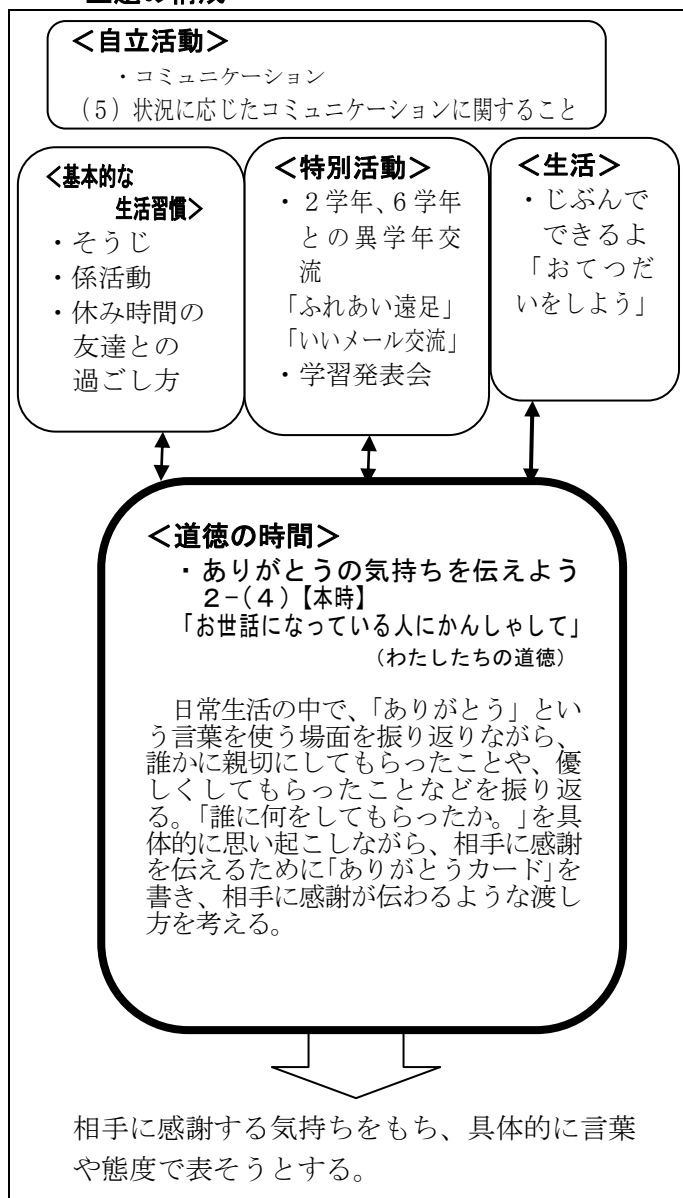
「ありがとうカード」を渡すときに、相手に感謝の気持ちを伝えるためにはどんなことに気をつけながら渡したらよいかを考える。また、実際に養護教諭に処置してもらった場面を想定し、ロールプレイングを行うことで、感謝の気持ちが伝わるような話し方を確認する。

## 3. 主題構成

#### ・主題のねらい

日頃お世話になっている人の存在に気づき、それらの人々に対する感謝の気持ちを具体的な言葉や行動に表そうとする心情を育てる。

#### ・主題の構成



4. 本時案

<p>本時の目標</p>	<p>日頃お世話になっている人の存在に気づき、それらの人々に対する感謝の気持ちを具体的な言葉や行動に表そうとする心情を育てる。</p>	
<p>場</p>	<p>子どもの意識の流れと学習活動</p>	<p>教師のかかわり</p>
<p>つかむ</p>	<p>どんな人がどんな仕事をしているかについて考える。</p> <p>○6年生の取組の写真を見て、自分たちが身の回りの人にお世話になっていることを振り返る。          ・さくらルームの掃除をしてくれているよ。          ・休み時間に遊びに来てくれているよ。</p> <p><b>お世話になっているひとは？</b></p>	
<p>わかる</p>	<p>自分たちの身の回りでは誰がどんなことをしてくれているかを考え、「ありがとうカード」を書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>学校では・・・</b></p> <p>6年生がそうじを教えてくれているね。</p> <p>調理員さんは給食を作ってくれているね。</p> <p>保健の先生は、体がかゆいときに見てくれた。</p> </div> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>おうちでは・・・</b></p> <p>おかあさんはごはんを作ってくれているね。</p> <p>おばあちゃんはお迎えにきてくれているね。</p> </div> </div> <p>～してくれて ありがとう  <b>みんなに ありがとうをつたえたいね！</b></p> <p>○お世話になっている人たちに、「ありがとうカード」を書く。</p> <p><b>千秋先生にカードを渡してみよう</b></p>	
<p>たしかにする</p>	<p>感謝の気持ちが伝わるようなカードの渡し方を考え、練習する。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>千秋先生 薬をぬってくれて ありがとう</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>目を見て 名前を呼んで 両手でわたそう</p> </div> </div> <p><b>おうちの人にも「ありがとう」が伝わるようにカードを渡したいね！</b></p>	
<p>本時の目指す子どもの姿</p>	<p>身の回りにはお世話になっている人がたくさんいることに気が付き、感謝の気持ちをもって、言葉や行動で伝えようとしている。</p>	
<p>[ICTの活用③資料の提示・共有]          ・6年生と一緒にさくらルームを掃除している写真を見せる。</p> <p>・P82の挿絵から、児童がイメージしやすい場面を選択して提示する。</p> <p>・実際にお世話になった時の写真を提示し、「誰に何をしてもらったか」を思い出せるようにする。</p> <p>・相手に何かしてもらった時には「ありがとう」と感謝の伝えることがとても大切だということを強調する。</p> <p>・1つのカードを2人で分担して書くことで、かかわりながら作業できるようにする。          (A児) 相手が何をしてくれたのかを考え、「～してくれて」と丁寧に書けるようにする。          (B児) 文字を一画ずつ色分けして示し、ゆっくり丁寧に「ありがとう」書けるようにする。</p> <p>[吟味する交流の手立て]          ・処置してもらった時の場面を想定しやすいよう、T2(養護教諭)が実際に登場し、ロールプレイングを行う。          ・3つのポイントを押さえながらカードを渡せていたか、児童がお互いに評価し合うようにする。          ・相手の名前を呼んだり目を見たりしながら、感謝の気持ちを伝えることができているかを確認する。          ・「ありがとう。」を伝えることができた場面の写真を見せながら、感謝を伝えられていることを評価し、意欲を高める。</p>		

5. 板書計画

